

流域下水道は情報のリレーランナー

光ファイバーがつなぐ

みんなの安全・安心



一般社団法人 日本下水道光ファイバー技術協会

■ 流域下水道光ファイバーネットは、高度で省力化した維持管理を可能にするとともに、関連市町村と広域行政を光ファイバーでつなぐ情報の架け橋となって、安全・安心社会の実現を目指します。

情報の流れと活躍現場

期待される効果

環境保全

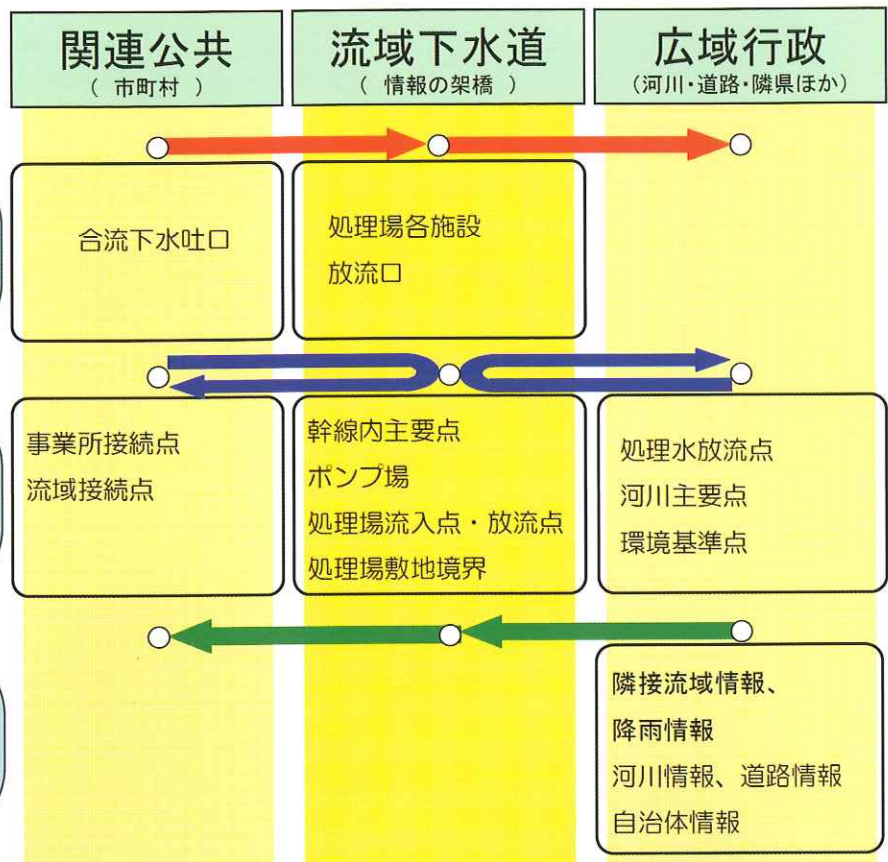
- 水域を衛る -

予防保全型維持管理

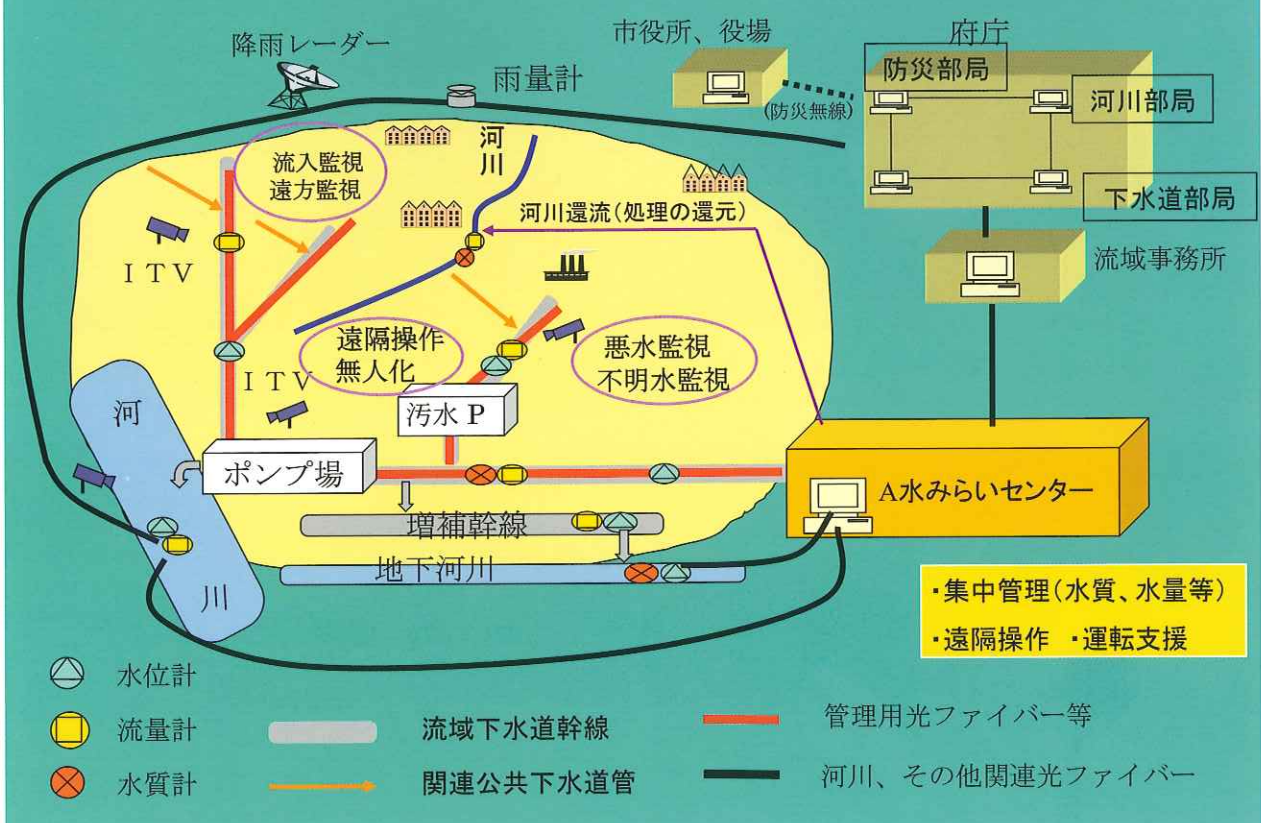
- 流域下水を衛る -

防災・危機管理

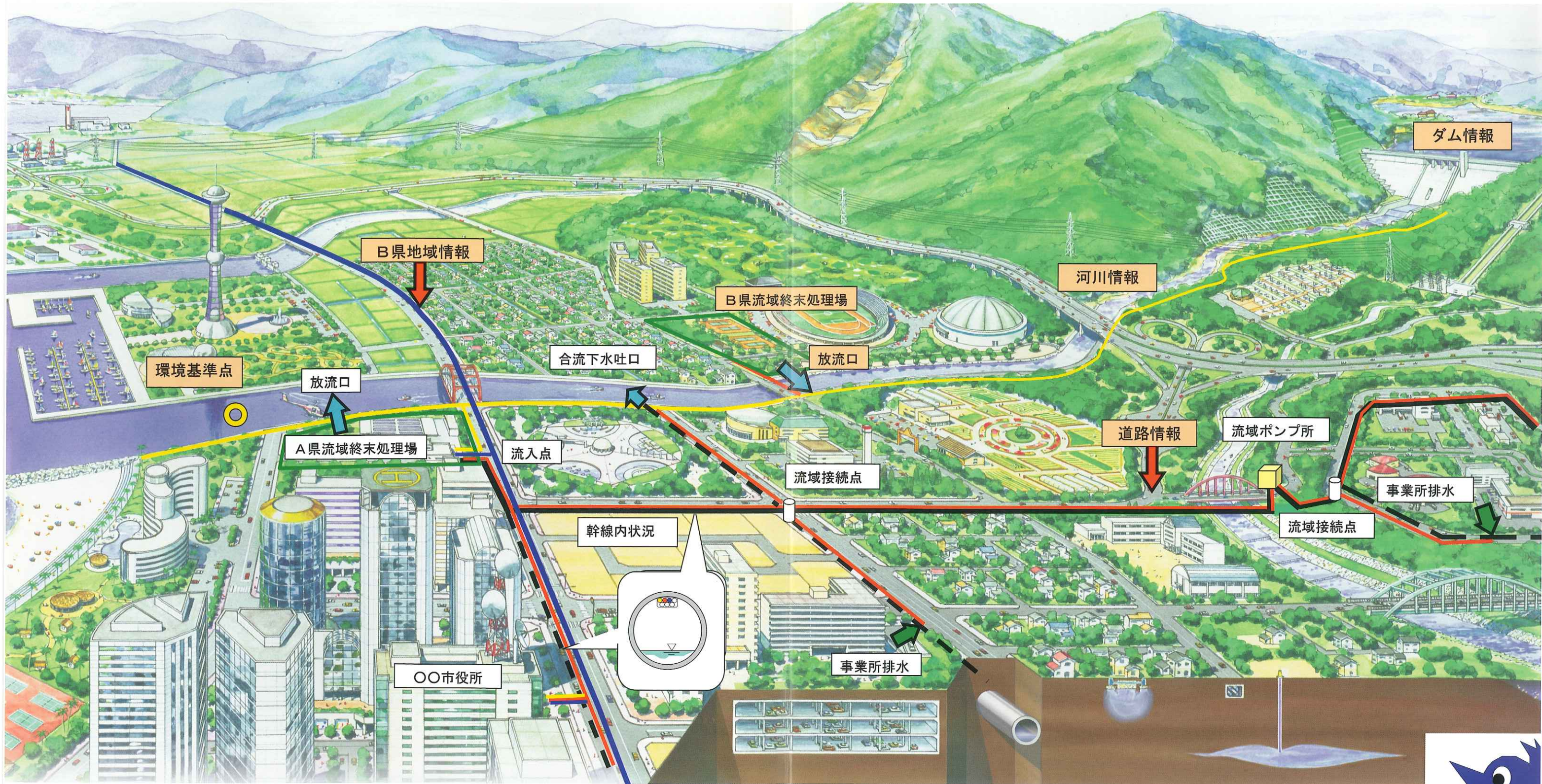
- 市民生活を衛る -



暮らしを支える流域下水道の光ファイバー(大阪府の実施例)



流域下水道光ファイバーで広げるみんなの情報ネットワーク



背景イラスト提供：日本工営（株）

凡例

	流域下水道幹線		下水道光ファイバー		監視制御点
	公共下水道幹線		河川光ファイバー		広域地域情報
			道路光ファイバー		



流域下水道の現状

悪水の流入

不明水の流入

要員の不足

増える説明責任

危機管理の未整備

地震対策

流域下水道のこれから

維持管理主体の運営

オンタイム・コントロール

経営の合理化

予防保全型維持管理

地域のための有効活用

安全と安心の向上

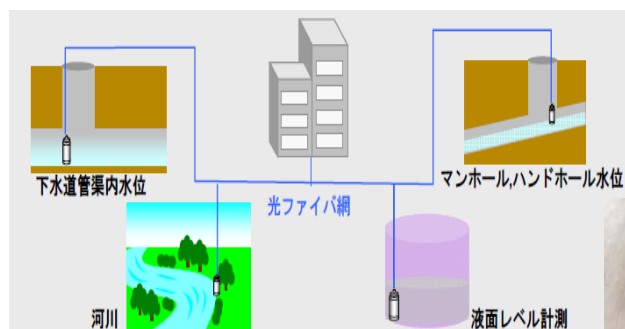
流域下水道のための
光ファイバー活用

関連市町村のための
光ファイバー活用

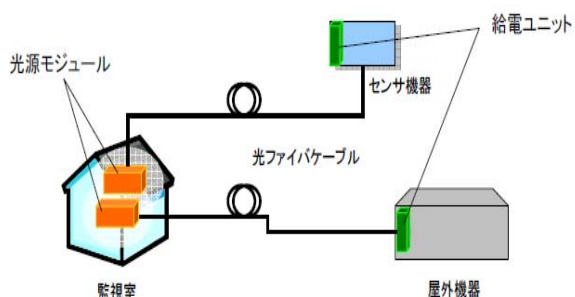
地域のための
光ファイバー活用

進化する下水道光ファイバー技術

下水道光ファイバーは情報・光・電気などを送るほか、センシング機能も果たします！！

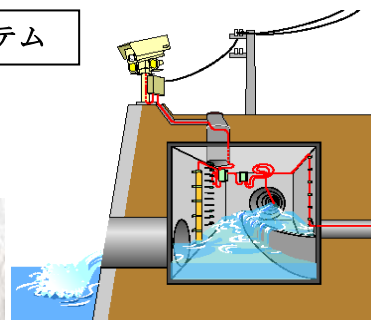


■水位計システム、浸水検知システム

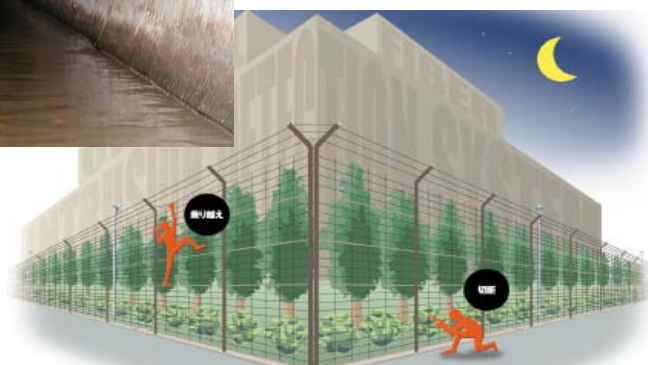


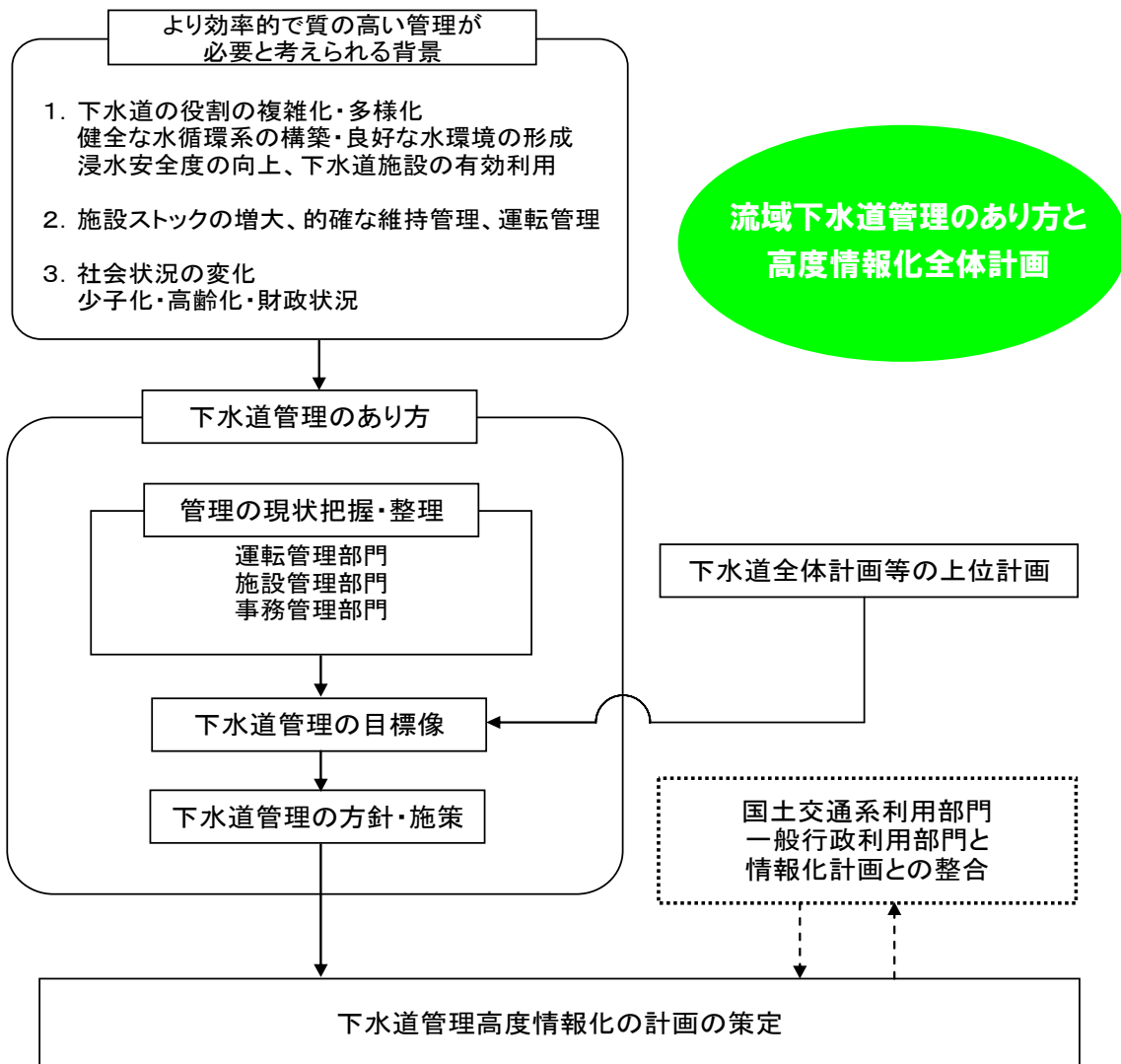
■電気・光を送る技術

■流量計システム



■異常検知システム





光ファイバー整備事業に係る補助制度

(1) 下水道管理用光ファイバー整備計画策定費補助制度

日本下水道光ファイバー技術協会では幅広い技術と経験をもって計画策定業務の御支援をしております。

(2) 下水道管理用光ファイバー通信線敷設費用に対する補助

下水道光ファイバー通信線布設費用の補助限度額（国費）5万円/m

(3) 新世代下水道支援事業制度の機能高度化促進事業

- ① 排水水質等の常時監視システム、再生水施設の自動検針システムの整備
- ② 降雨・雨水排除に関するデータをリアルタイムに提供する情報提供施設 等



一般社団法人 日本下水道光ファイバー技術協会

東京都千代田区内神田 2-10-12 内神田すいすいビル 4 階

お問い合わせ先：

(一社)日本下水道光ファイバー技術協会 事務局

電話：03-6206-0222 FAX：03-6206-0221